

大阪市人権行政推進計画～人権ナビゲーション～に基づく
「人権の視点！100！」実行プログラム評価シート

所属名	行政委員会事務局
-----	----------

※日付入力→ 令和8年3月12日 現在

① 実施年度	② 担当課名（担当者名）	③ 電話番号
7 年度	総務課	6208-8572

実行プログラム（人権尊重の視点からの行政運営を推進するための取組み）について

④ プログラムの名称	職員の人権意識の向上	
⑤ プログラムの概要（実施者、対象者、場所、時期、内容など）	策定時（当初目標）	実施結果（実施後）
	実施者：総務課 対象者：所属全職員 場所：局内執務室 時期：4月～3月 内容：外国人の人権課題や多文化共生の重要性について学び、理解を深めることを目的とした研修の実施	時期：10月 内容：局職員全員が研修を受講。 動画「多文化共生のためのコミュニケーションのコツ」の視聴及び解説を行い、人権が尊重される職場づくりを推進した。
⑥ 行動（行為）目標／行動（行為）実績	所属の全職員を対象に研修を実施（年1回）	65名中65名（100%）全員が受講
⑦ 期待していた効果／実施後に判明した効果	多様な文化や習慣等について正しく理解し、外国人に配慮した行政サービスに向けた人権意識の向上	受講者アンケートにおいて職員57名中57名（100%）が研修内容について「よく理解できた」「おおむね理解できた」と回答

⑧ 実施経過 ※策定時の実施スケジュールではなく、実績ベースで記載してください。
※行の追加・削除はご遠慮ください（着色セルの拡大・結合は可）

上半期	4月	
	5月	
	6月	
	7月	
	8月	
	9月	研修実施の企画

下 半 期	10月	研修資料の収集・研修の実施					
	11月	受講者アンケートのとりまとめ					
	12月						
	1月						
	2月						
	3月						
⑨ 市民・職員からの意見・感想など		<p>・職場の事例よりさらに身近な事例を用いての動画が分かりやすかった。仕事だけでなくプライベートでも「やさしいにほんご」を活用したいと思った。</p> <p>・外国人住民との共生といったテーマなど、昨今の状況を鑑みて取り上げてもよいのではと思います。</p>					
⑩ 実施により強化できた「人権の視点！100！」の項目 ※プルダウン選択		伝える	聴く・知る	備える	支える	つながる	務める
		(情報公開・広報)	(広聴)	(環境整備)	(行政サービス)	(協働)	(事業者としての責任)
		策定時			○		
		実施後		○			
⑪ 策定時と実施後の評価を比較して上記のように分析した理由		<p>研修後の受講者アンケートで</p> <p>・57名中57名が「よく理解できた」、「おおむね理解できた」と回答</p> <p>・57名中55名が「やさしい日本語」を使う意識が高まったと回答</p>					
⑫ 項目別評価 ※プルダウン選択							
取組み内容		<p>以下は、「人権の視点！100！」を踏まえた事業や取組みとして、「人権尊重の視点からの行政運営」を推進するためのものとなっていたかという点で、</p> <p>○ 取組み例としては一般的であった</p>					
効果の程度		<p>以下は、人権尊重の視点からの課題の解決、行政運営の実現にあたり、達成目標が明確であり、その効果が広く市民サービスの向上等に効果があったかという点で、</p> <p>○ 期待していたとおりの効果があった</p>					
推進体制		<p>以下は、策定した実行プログラムを遂行できる推進体制、進捗管理及び成果の検証方法が確立できていたかという点で、</p> <p>○ 遂行に支障のない程度の推進体制だった</p>					
わかりやすさ		<p>以下は、取組みの進捗状況や成果が、市民や職員にわかりやすく伝わったかという点で、</p> <p>◎ とてもわかりやすく伝わった</p>					
普及性		<p>以下は、取組み結果が特定の市民に有効なものではなく、検証や改善により幅広い市民や他の所属でも普及又は応用が可能なものであったかという点で、</p> <p>◎ 幅広く市民や他の所属でも普及又は応用できる</p>					
費用対効果		<p>以下は、取組みのためにかかった費用又は職員の時間や負担に対して明確な効果があったかという点で、</p> <p>○ 期待していたとおりの効果があった</p>					

評価の総括 ※所属人権行政推進委員会等として記入してください。

⑬ 実行プログラム全体を通して「人権尊重の視点」から評価できるところ	<p>受講者アンケート結果において、ほとんどの職員が外国人の人権課題や多文化共生の重要性について理解し、「やさしい日本語」を使う意識が高まったと答えており、適切に接することを学んだことで「備える」の強化につながり、職員の人権意識の向上を図ることができた。</p>
------------------------------------	---

⑭ 実行プログラム全体を通しての反省点	特になし
⑮ 今回の評価結果を踏まえて所属の業務又は次期実行プログラムを改善するところ	動画視聴や体験型の手法を取り入れるなど参加型の構成を継続し、より理解が深まるための効果的な研修を実施する。
⑯ 人権行政推進委員会等委員長（所属長）のコメント	人権意識の醸成は継続的な取り組みが不可欠であり、今後も研修内容の充実に努められたい。